

≫≫ 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 松竹系 4月 演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『醍醐の花見』	○			
	『伊勢音頭恋寝刃 追駈け・地藏前・二見ヶ浦・油屋・奥庭』	○			
	『一谷嫩軍記 熊谷陣屋』	○		○	○
	『傾城反魂香』	○			
	『桂川連理柵 帯屋』	○			
	『三代猿之助四十八撰の内 奴道成寺』	○			
新橋演舞場	『滝沢歌舞伎2017』			○	
赤坂ACTシアター	『新作歌舞伎 夢幻恋双紙 赤目の転生』	○		○	
幕張メッセ	ニコニコ超会議『超歌舞伎 花街詞合鏡』	○			○
松竹座 (大阪)	『コメディ・トゥナイト!』	○		○	○
金丸座	『神霊矢口渡』	○			
	『忍夜恋曲者 将門』	○			
	『お祭り』				
	『芦屋道満大内鑑 葛の葉』	○		○	○
	『五代目中村雀右衛門襲名披露口上』				
『新古演劇十種の内 身替座禅』	○				
下関市民会館	坂東玉三郎下関特別舞踊公演			○	

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 他社演劇公演資料 ■

赤坂RED/THEATER	3月	ワンツーワークス『怒りの旅団アングリー・ブルゲード』プログラム、台本
恵比寿・エコ劇場	3月	「日本の劇」戯曲賞2015『檸檬の島』プログラム、台本
紀伊國屋サザンシアター	4月	劇団民藝『送り火』プログラム、台本
国立劇場小劇場	3月	『組踊「執心鐘入」と琉球舞踊』プログラム 『舞踊名作鑑賞会』プログラム
シアタークリエ	3月	『キューティ・ブロンド』プログラム
シアターコクーン	3月	シス・カンパニー『令嬢ジュリー／死の舞踏』プログラム
下北沢「劇」小劇場	4月	トツゲキ倶楽部『独立愚連飯店』プログラム
自由劇場 (四季)	3月	劇団四季『エルコスの祈り』プログラム
座・高円寺1	4月	あやめ十八番『ダズリング＝デビュタント』プログラム
ザ・スズナリ	4月	ONE OR 8『世界は嘘で出来ている』プログラム
下北沢小劇場B1	4月	大森カンパニープロデュース『更地SELECT SAKURA』プログラム
東京芸術劇場シアターウエスト	3月	MONO『ハテノウタ』プログラム
中野ザ・ポケット	3月	演劇集団イヌッコロ『まわれ！無敵のマörderケース』プログラム

(新着資料案内 他社公演資料 続き)

俳優座劇場	3月	劇団銅鑼『彼の町』プログラム ひとみ座『イヌの仇討』プログラム
博多座	4月	『細雪』プログラム、ポスター
北とぴあさくらホール	4月	春日宏美『源氏物語』ひとりごと『恋や恋、あなたが忘れられなくて。』プログラム 劇団文化座『旅立つ家族』プログラム
本多劇場	3月	劇団東演『僕の東京日記』プログラム

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『 R e L I F E リ ラ イ フ 』	○	○	○		
『ラストコップ THE MOVIE』	○		○		

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 映画プログラム ■

『無限の住人』	『湯を沸かすほどの熱い愛』	『しあわせになろうね 極道解散!』
『沖縄』	『鉄塔武蔵野線』	『四万十川』
『渋滞』	『あしたの火花』	『国士無双』
『金色のクジラ』	『アドレナリン・ドライブ』	『お星さまのレール』
『ベトナムのダーちゃん』	『潤の街』	『アイ・ラブ・ユー』
『愛の黙示録』	『郡上一揆』	『奇人たちの晩餐会』
『イワン雷帝』	『心のおもむくままに』	『追憶の上海』
『クアトロ・ディアス』	『リトル・シンドバッド 小さな冒険者たち』	
『太白山脈』	『インディラ』	『青い胤』
『畏 ブルーム事件』	『ナヌムの家』	『泉』
『アウシュビッツの女囚 招待』	『ワールド・アパート』	『人生案内』
『ミュリエルの結婚』	『鶴は翔んでゆく』	『道』
『ポネット』	『ジェルミナル』	『榕樹(ガジュマル)の丘へ』
『バティニョールおじさん』	『王妃マルゴ』	『サン★ロレンツォの夜』
『三文オペラ リオ1941』	『告白』	『ピショット』
『紅いコーリャン』	『ケス レディバード・レディバード』	
『抵抗(レジスタンス) 死刑囚の手記より』		『ディア・アメリカ 戦場からの手紙』

■ 演劇雑誌 ■

『Confetti』2017年MAY, JUNE	『喝采』2017年8月
『Confettiかわら本』2017年4月号,5月号	『三味線音楽普及の会だより』2016年9月No.16
『JPL』2017年Spring No.65	『神奈川芸術プレス』2017年4月-5月Vol.135
『SePT倶楽部 information』 2017年4月号	『大向う』平成29年5月号
『TICKETS GO!GO!』Vol.66, Vol.67	『伝統文化新聞』2017年(131号)
『the座』2017年91号	『日本芸術文化振興会ニュース』平成29年5月号
『あぜくら』2017年4月号	『日本劇作家協会会報 ト書き』2017年58号
『ほうおう』2017年5月号,6月号	『日本照明家協会誌』2017年4月号
『シアターガイド』2017年6月号	『日本舞踊』69巻5月号
『テアトロ』2017年5月号	『日本舞踊協会報』2017年1月
『ラ・アルプ』2017年5月号	『悲劇喜劇』2017年5月号
『演劇界』2017年6月号	『邦楽の友』平成29年5月号

(新着資料案内 続き)

■ 映画雑誌 ■

『FLIX』2017年6月号
『NFCカレンダー』2017年5月号
『SCREEN』2017年6月号
『omoshii mag オモシイ・マグ』Vol.9
『キネマ旬報』2017年5月上旬号,5月下旬号
『シナリオ』2017年6月号
『シナリオ教室』2017年5月号
『ドラマ』2017年5月号
『ピクトアップ』2017年6月号
『映画テレビ技術』2017年5月号
『映画時報』2017年4月号
『映画秘宝』2017年6月号,7月号
『衛星劇場プログラムガイド』2017年5月号
『日経エンタテインメント!』2017年4月号,5月号
『日本アカデミー賞協会会報』81号
『文化通信ジャーナル』2017年5月号
『立教映像身体学研究』5号

≫≫ 新規登録資料案内 新しく登録した資料をご案内いたします

■ 書籍 ■

『昭和と映画と人生と』 桜井修 (著) 春吉書房
『映画は戦争を凝視する』 村瀬広 (著) 新日本出版社
『「時代映画」の誕生 講談・小説・剣劇から時代劇へ』 岩本憲児 (著) 吉川弘文館
『映画連活動報告書 平成二十七(2015)年度』 日本映画製作者連盟
『戦後ドイツの映画ポスター』東京国立近代美術館フィルムセンター+京都国立近代美術館 (編) 東京国立近代美術館フィルムセンター
『キューバの映画ポスター 竹尾ポスターコレクションより』
東京国立近代美術館フィルムセンター+京都国立近代美術館 (編) 東京国立近代美術館フィルムセンター
『生誕100年 映画監督・小林正樹』 世田谷文学館+庭山貴裕+小池智子 (編) 世田谷文学館
『わが人生 吉村公三郎』

資料をご寄贈くださった方々 (敬称略・順不同/2017年2月~3月)

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、松竹ブロードキャスティング株式会社、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、劇団四季、株式会社日本舞踊社、国立劇場、シナリオ・センター、博多座、劇団俳優座、キネマ旬報社、公益財団法人 劇場演出空間技術協会、関西・歌舞伎を愛する会、日本映画テレビ技術協会、劇団民藝、シアタークリエ、演劇出版社、武藤康司、一般社団法人日本民間放送連盟、文学座、高橋隆、劇団PEOPLE PURPLE、山口博哉、俳優座劇場、ロングランプランニング株式会社、独立行政法人日本芸術文化振興会国立文楽劇場、若林さだ吉、デアゴスティーニ・ジャパン、明治座、伝統文化新聞、公益社団法人日本照明家協会、国文学研究資料館、岩波ホール、NHK出版、(株)近代映画社、東宝株式会社、銀座百店会、おもだか会、淡交社、帝国劇場、銀座 博品館劇場、邦楽の友社、日本映画撮影監督協会、日本映画テレビプロデューサー協会、日本劇団協議会、関西常磐津協会、伝統歌舞伎保存会、人形劇団プーク、株式会社アサツー・ディー・ケイ、オペラシアターこんにゃく座、こまつ座、愛知芸術文化センター、前進座、新国立劇場情報センター、株式会社パルコ、丸善出版株式会社、玉川大学教育博物館、義太夫節正本研究会言語研究班、公益財団法人ユニジャパン、M&O p l a y s、青い鳥創業、株式会社カモミール社テアトロ編集部、北翔大学北方圏学術情報センター、日本近代文学館、園田学園女子大学近松研究所、映画論叢、公益社団法人日本バレエ協会 舞踊公演アーカイヴ事業委員会、守安敏久、劇団東演、日本劇作家協会、大阪ガスビジネスクリエイト(株)OMS 戯曲賞事務局、劇団青年座、一般社団法人日本演出者協会、喜来照夫、東京芸術劇場 (公益財団法人東京都歴史文化財団)、日本ウニマ (国際人形劇連盟)、明治学院大学大学院、株式会社東急文化村、独立行政法人日本芸術文化振興会 (国立劇場)、公益社団法人日本演劇協会、中村秀之、京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター、名取事務所、立命館大学アート・リサーチセンター、流山児★事務所、公益社団法人日本俳優協会

どうもありがとうございました

「山田洋次監督」展第五弾

～『男はつらいよ』シリーズ6作品、『幸福の黄色いハンカチ』と演劇作品～

展示期間：2017年4月28日～6月28日／於 閲覧室

2017年5月27日に待望の新作『家族はつらいよ2』が公開される山田洋次監督の関連作品をご紹介します。

第五弾展示では、本年3月25日柴又駅前寅さんの銅像そばに、倍賞千恵子演じる妹さくらの銅像が建てられるなど、今なお人気の高い『男はつらいよ』シリーズ(全48作)の、1975年より1978年までの6作品とともに、高倉健出演の名作『幸福の黄色いハンカチ』の資料を展示します。

また今回は、本年3月に音楽劇『マリウス』の脚本と演出、5月に前進座『裏長屋騒動記』の監修と脚本を手掛けるなど、このところ舞台の仕事が続く山田洋次監督の、これまでの演劇作品の資料もご紹介いたします。歌舞伎の補綴、新派の脚本・演出と、演劇界でも大活躍の山田洋次監督の作品資料を是非ご覧下さい。

●上段:映画作品●

『男はつらいよ 葛飾立志篇』(第16作)

昭和50[1975]年公開 台本、スチール 原作・脚本・監督：山田洋次/脚本:朝間義隆/主な出演:渥美清,倍賞千恵子,榎山文枝
インテリ嫌いの寅さんが突然勉学に目覚める。榎山文枝演じるマドンナ役の大学院生に一目ぼれしたことも相まって、学問に四苦八苦する新趣向の作品。

『男はつらいよ 寅次郎夕焼け小焼け』(第17作)

昭和51[1976]年公開 スチール 原作・脚本・監督:山田洋次/脚本:朝間義隆/主な出演:渥美清,倍賞千恵子,太地喜和子
マドンナとして文学座の若手女優、太地喜和子が芸者役で出演し、この演技によりキネマ旬報助演女優賞を受賞。作品自体もキネマ旬報ベスト・テン第2位を受賞し、高評価を得た。

『男はつらいよ 寅次郎純情詩集』(第18作)

昭和51[1976]年公開 スチール 原作・脚本・監督:山田洋次/脚本:朝間義隆/主な出演:渥美清,倍賞千恵子,京マチ子,檀ふみ
シリーズ初母娘のダブルマドンナが登場し、母役の京マチ子が病気がちのマドンナを演じた。シリーズ中唯一寅さんがマドンナと死別する作品。娘役は檀ふみ。

『男はつらいよ 寅次郎と殿様』(第19作)

昭和52[1977]年公開 ロビーカード 原作・脚本・監督:山田洋次/脚本:朝間義隆/主な出演:渥美清,倍賞千恵子,真野響子
渥美清が“心の師”と仰ぐ、時代劇スターのアラカンこと嵐寛寿郎と共演。大洲の城下町でアラカン演じるお殿様と呼ばれる老人と寅さんが巻き起こす騒動が描かれる。

『幸福の黄色いハンカチ』昭和52[1977]年公開

台本、スチール 監督・脚本:山田洋次/脚本:朝間義隆/原作:ピート・ハミル/主な出演:高倉健,倍賞千恵子,武田鉄矢
高倉健が山田監督作品に初出演した感動の名作。第1回日本アカデミー賞作品賞、キネマ旬報ベスト・テン1位など各賞を独占した。

『男はつらいよ 寅次郎頑張れ!』(第20作)

昭和52[1977]年公開 スチール 原作・脚本・監督:山田洋次/脚本:朝間義隆/主な出演:渥美清,倍賞千恵子,藤村志保
ゲスト出演の中村雅俊と大竹しのぶが若者カップルを演じて注目を集めた作品。寅さんが2人の恋愛指南役として活躍する。

『男はつらいよ 寅次郎わが道をゆく』(第21作)

昭和53[1978]年公開 スチール 原作・脚本・監督:山田洋次/脚本:朝間義隆/主な出演:渥美清,倍賞千恵子,木の実ナナ
木の実ナナがSKD(松竹歌劇団)の花形スターに扮し、SKDの本拠地であった浅草国際劇場で実際にレビューの撮影が行われた。山田監督はこの作品の翌年SKDミュージカルの脚本を手掛けた。

●下段:演劇作品●

第1回SKDミュージカル『カルメン』昭和54[1979]年2/17-7/15

浅草国際劇場 プログラム 脚本+演出:山田洋次
SKD(松竹歌劇団)初のミュージカルで、記念すべき第1回の脚本と演出を山田監督が手掛けた。

歌舞伎『人情噺文七元結』

平成19[2007]年10月新橋演舞場 台本、スチール
口演:三遊亭円朝/作:榎戸賢治/補綴:山田洋次/監修:落語三遊派宗家落語の名作を歌舞伎化した作品。18代目中村勘三郎のリクエストにより山田監督が補綴を手掛けた。



(人情噺文七元結は計3回上演。左より初演の2007年10月新橋演舞場、2010年7月赤坂ACTシアター、2011年9月大阪新歌舞伎座。今回は初演の新橋演舞場の台本を展示)

新派『麥秋』平成22[2010]年1月三越劇場

プログラム、スチール 脚色+演出:山田洋次/脚本:松岡亮
主な出演:2代目水谷八重子,波乃久里子
名匠小津安二郎監督の作風が劇団新派の家庭劇と共通すると考えた山田監督が『麥秋』を選び舞台化。

新派『東京物語』平成24[2012]年1月三越劇場

台本、スチール 脚色+演出:山田洋次/脚本:松岡亮
主な出演:2代目水谷八重子,波乃久里子
監督生活50周年の節目に、再び小津安二郎監督の舞台化に取り組み、傑作『東京物語』を劇団新派で上演。

『さらば八月の大地』平成25[2013]年11月新橋演舞場

プログラム、スチール 演出:山田洋次 脚本:鄭義信
主な出演:6代目中村勘九郎,今井翼,檀れい
戦時中、満映(満州映画協会)撮影所で映画作りに夢を追った人々の物語。少年期を旧満州で過ごした山田監督自身の体験が反映されている。

音楽劇『マリウス』平成29[2017]年3月日生劇場

プログラム、スチール 脚色+演出:山田洋次 原作:マルセル・パニョル/主な出演:今井翼,瀧本美織,柄本明
“寅さん”シリーズの原点でもある、フランスの人情喜劇『マリウス』『ファニー』『セザール』のうち、前2作を基に音楽劇として舞台化。

[関連資料]映画『愛の讃歌』

昭和42[1967]年公開 スチール 監督:山田洋次/脚本:山田洋次+森崎東/主な出演:倍賞千恵子,中山仁
『マリウス』と同じくパニョルの原作が基となった映画。マルセイユを瀬戸内海に舞台を移して作られた。

**日比谷図書文化館広報誌『ポモージュ』
2017年5月号に3/16(木)に開催された
当館の講座のレポートが掲載されています**

前号のニューズレターでご報告した、千代田区立日比谷図書文化館で3/16(木)に開催された【専門図書館への入口講座第8回 日比谷カレッジ版「映画・演劇資料の宝箱」－松竹大谷図書館－】のレポートが、日比谷図書文化館の広報誌『ポモージュ』2017年5月号に掲載されています。日比谷図書文化館の館内で配布されているほか、日比谷図書文化館 HP でもご覧いただけますので、是非ご覧下さい。



表紙裏の右側に当館の講座レポートが載っています

日比谷図書文化館 HP: <http://hibiyal.jp/hibiya/index.html>

■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2017（平成29）年4月にご支援いただきました

法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座
歌舞伎座サービス株式会社
歌舞伎座舞台株式会社
松竹株式会社
松竹衣裳株式会社
株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社
松竹芸能株式会社
株式会社松竹サービスネットワーク
松竹ブロードキャスティング株式会社
株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます



● 利用案内 ●
開館時間
平日午前10時～午後5時
休館日
土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期夏期特別整理期間
※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します。
閲覧 館内閲覧のみ
入館料 無料

● 交通案内 ●
東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分
東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分



編集・発行 公益財団法人 松竹大谷図書館
〒104-0045 東京都中央区築地 1-13-1 銀座松竹スクエア3階 / TEL 03-5550-1694
公式 HP ● <http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>
公式 Facebook ● <https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>